

第3回 室蘭市八丁平土地対策に係る健康影響評価検討委員会 会議録（要約）

日 時：平成26年4月25日（金） 13:30～

場 所：室蘭市役所本庁舎2階 大会議室

出席委員：森委員長、田原副委員長、大平委員、吉田委員

欠席委員：伊藤委員

事務局：米野生活環境部長、國枝保健福祉部長、北野環境課長、清水健康推進課長、田中環境課主幹、大澤同主幹、山下健康推進課主幹、原都市政策課主幹〔公園・緑化〕、高井環境課主査、那須原健康推進課健康推進係長
（ほか関係職員 同席）

- 議事次第：
1. 開会
 2. 報告
（1）住民説明会開催結果について
 3. 議題
（1）健康影響調査の対象者選定について
 4. 今後のスケジュール
 5. 閉会

《会議内容》

○報告

- ・平成26年2月26日に開催した住民説明会での意見等について、事務局より報告。

【A委員】

- ・緑道掘削の緑道というのは全く別のところか。全く別の所から土壌を持ってきたのではなく近隣の土壌を掘削して移動したということか。

【事務局・大澤主幹】

- ・緑道については、道路を取り付ける時にその範囲の土を掘ったり形を変えたりして近隣のところに移動したということである。

○議事

（1）健康影響調査の対象者選定について

【委員長】

- ・募集人数150名に対して、47名超過の申込状況で、関心の高さを表していることと思う。我々にとっても、健康への関心が高いことは非常にありがたいことと思っている。
- ・いくつかの論点があると思うが、まず、事務局案の優先事項の考え方について、居住年数

は近隣で10年以上居住していることを該当とすること、公園利用頻度については、ほぼ毎日、週に数回、あるいは月に数回という3区分をもって、利用頻度が高いとした、ということである。

- ・もう1点は、前回設定した150名という人数から47名ほど超過している点について、優先事項によりどのように考えたらよいかということである。
- ・それでは、近隣で10年以上居住していることと、公園の利用頻度が高いということについて、この考え方でよいか委員からご意見をいただきたい。

【B委員】

- ・公園が整備されてから10年ということだが、何年に南公園が整備され現在の状態になったか分かるか。

【事務局・原主幹】

- ・南公園は平成11年と平成12年に整備している。

【委員長】

- ・この基準だと、どちらかに該当する、あるいは両方に該当する方を含め、大半の方が該当することになるかと思う。設定した基準から外れている4名についてはご説明をいただきたい。

【事務局・清水課長】

- ・4名の方のうち3名は子どもで、今回申込をいただいた方で子どもの数が少ない中、貴重な申込みと思っている。あと1名は家族とともに申込みいただき、長きに渡って家族と一緒に居住している方である。

【委員長】

- ・居住10年以上だが基準から外れたのは、住所が近隣の枠から少し外れているからということだろう。この4名は枠からは外れているが、そのような状況で、ほぼ全員が健康影響調査へ意思があるということである。
- ・続いて2番目の議論に移るが、197名について前回設定した150名よりも47名超過しているが、委員会としてどのように提案するか、意見をいただきたい。

【A委員】

- ・居住年数と公園利用頻度両方の基準に該当する87名に関しては問題なく対象でよいと思うが、どちらかに該当の15名の方と91名の方に関しては境界がかなり難しいと思う。この方々に関しては調査対象から外すと、不本意で不満が出る可能性が高いと思われるので、あえて対象から外すというのは難しい面があると思う。もし可能であれば、この方々を含めて実施するというのが有力な案ではないかと思う。

【委員長】

- ・先ほどの4名の方はいかがか。

【A委員】

- ・小さい方は家族と一緒に検査されるのではないかと思うので、希望されるのであればこの方も含めて調査対象にするのがよいのではないか。

【委員長】

- ・197名全員の参加をお願いするのがよいのではないかというA委員の意見である。

【C委員】

- ・私もA委員の案に賛成で、誰を対象から外すかということはなかなか難しい状況だと思う。先の4名のうち3名の方が15歳未満ということなので、対象から外すのはよくないと思う。できれば全員に調査を受けていただいたほうがよいと思う。

【委員長】

- ・C委員から、197名全員に調査を受けていただいたほうがよいという意見である。

【B委員】

- ・私も2人の委員が言った通りで、不安を持っている方に何らかの安心をいただくにあたり、希望に応じていったほうがよいので、市の条件が許せば、197名全員を対象者としていただければと思う。

【委員長】

- ・私も同様に197名全員の調査が望ましいと思う。そうすると、委員会として全員一致で197名全員にご参加いただきたいということになるかと思う。
- ・当委員会としては、申込み人数が当初の予定の定員を47名超えているが、総合的に判断して申込者全員を調査対象とすることが望ましいと考える。実際に調査を行う室蘭市としてはいろいろな負担が増えることになるかと思うが、いかがか。

【事務局・國枝部長】

- ・室蘭市としては、今日ご審議いただいた全員の調査という委員会のご意見、ご判断を踏まえて、対策本部で対応を決定してまいりたい。
- ・また、決定した内容については、各委員に速やかに提供することで対応させていただきたいと考えている。

【委員長】

- ・それではそのようにお願いしたい。以上で本委員会の議事を閉じたいと思う。

【事務局・米野部長】

- ・委員長、並びに各委員には、ご審議いただき感謝申し上げます。

【事務局・北野課長】

- ・今後のスケジュールだが、申込者への通知については、本部会議で決定した後、来月上旬までに発送する予定である。
- ・健康影響調査については、5月17日、18日の土曜、日曜日に、八丁平小学校内の多目的教室等において、採血等の調査を実施する。
- ・健康影響調査の結果の判明時期については、鉛は1週間程度で判明するものの、ヒ素については検体数の多さから、分析機関では60日以上を要すると聞いていることから、データ整理等も含め、委員には8月下旬頃に結果をお示しできるものと考えている。
- ・次回の委員会もその時期に開催し、調査結果内容について評価をいただきたい。
- ・また、調査結果の評価がまとまったのち、9月中には住民説明会を開催し、地域住民に対して説明する予定である。

【事務局・米野部長】

- ・健康影響調査の対象者選定にあたり、貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。今後とも引き続きご協力を賜るようお願い申し上げます。
- ・また、次回の委員会開催については、準備が出来次第、改めてご案内申し上げます。